

## 研修プランA 1

# 授業の事実を共有し教科等横断的な視点から提言する

- 目的 授業の事実から教師が学べることを共有し、教科等横断的な視点から授業改善に向けた取組を提言し合っていくことを目指す授業研究会です。
- 対象 校内
- 時間 90分
- 形態 全体→グループ→全体→個人  
※グループの分け方：教科や学年の枠を越えたグループ編成
- 準備物 付箋（5 cm×7.5 cm、2色：水色・黄色、人数分×各15枚くらい）  
※サイズ、色は一例  
拡大学習指導案（本時案部分をA0のサイズに拡大したもの、グループ数）  
小さめのホワイトボード（グループ数）  
ホワイトボード用のペン（グループ数）  
黒板又は大きなホワイトボード（全体での協議内容をまとめられるもの）  
省察シート（教師の研修の記録用、人数分）

## ●研修前

### ○研究授業前

- ・学習指導案

学習指導案に、各学年や各教科で育成を目指す資質・能力を明記する

- ・授業観察の分担決め

複数の授業が同時に展開される時には、予め誰がどの授業を観察するか分担をしておく

全体、グループ協議での進行役・記録者・報告者を決めておく（授業者もグループ協議に参加することを前提とする）

授業中に児童・生徒のグループ活動等が展開される予定の時には、予め誰がどのグループの学びを観察するのかの分担を決めておく

### ○授業観察

- ・各自、学習指導案と付箋（2色）を持って授業観察をする

- ・2色の付箋に以下のことを書き込みながら、授業観察をする

水色…児童・生徒の学びが深まっていたと思われるところ

黄色…児童・生徒の学びが停滞していたと思われるところ

それぞれ、児童・生徒の学びの具体的な姿、時刻（児童・生徒の学びの場面を明確に特定するため）を記入する

## ●研修

| 流れ                       | 進め方   | 留意点等  | スライド<br>番号 |
|--------------------------|---|---|------------|
| 1 協議会の説明<br>【全体】 (10分)   | ○目的と流れについて説明する。   | ○目的は上記「 <b>■目的</b> 」参照<br>○流れは左欄「 <b>流れ</b> 」参照   | 1<br>2     |
| 2 グループ協議<br>【グループ】 (35分) |   | ○グループの分け方は上記「 <b>■形態</b> 」参照  |            |
| ①付箋の共有                   | ○拡大学習指導案に、各自が授業を見ながら記入した付箋を貼り、授業の事実を共有する。                                     | ○（付箋に書かれた）児童・生徒を主語とした学びの姿を、授業の事実とする。<br>・授業中に書ききれなかったものは、この場で書き足す   | 3          |
| ②協議                      | ○拡大学習指導案に貼られた付箋を俯瞰的に捉え、協議の内容を決める。また観点に沿って協議を進める。                              | ○協議の内容は、次の箇所を中心に決める。<br>・付箋が集中している所<br>・意見の相違が見られる所（水色と黄色の付箋が混在している所）<br>○次の観点を中心に分析し、協議を進める。<br>・学びを深めた、停滞した要因は何か<br>・教師の手立ての有効だった、不足していた内容とその要因は何か<br>（不足していた点については代案も検討）   | 4<br>5     |
| ③グループ協議のまとめ              | ○協議されてきたことから、教師が学べることは何かをまとめる。<br><br>○授業の改善に向けて必要なことは何か、意見を出し合って「提言」の形でまとめる。 | ○授業の事実で話し合われてきた内容を、全教科に共通する汎用的な内容や言葉で整理していく。<br><br>○本時の授業の改善という視点ではなく、今後の自校の授業改善（単元構成や本時展開も含む）に向けて、必要だと思われる視点や考えていくべき事柄、取組が何かを明確にして、「提言」としてまとめていく。<br>・研究主題や自校で育成を目指す資質・能力と照らし合わせて考える<br>・教科等横断的な視点で考えていく<br>・極力教科や学年に特化した言葉を避け、教科や学年に特化した課題は、教科会や学年会での協議事項とする | 6          |

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p><b>3 全体協議</b><br/>【全体】（25分）</p> <p>①協議内容の発表と共有</p> <p>②提言についての協議</p> | <p>○各グループでまとめた提言を発表する。</p> <p>○出された提言を整理、分類し、対応策を協議する。</p>   | <p>○全体の進行役が協議を進める。全体の記録者は、黒板（ホワイトボード）に協議、決定した内容を構造化しながらまとめ、全員が共通に理解できるようにしていく。</p> <p>○各グループの提言内容の共通点を整理し、次の観点でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成を目指す資質・能力や学校の研究の方向性に向かう視点、取組</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">〔 単元構成、本時展開に関わること<br/>指導方法に関わること 等 〕</p> <p>○対応策を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がすぐに取り組むべきこと</li> <li>・学年会や教科会で話し合って内容や方法を検討していくこと</li> </ul> |   |
| <p><b>4 まとめ</b><br/>【全体】（10分）</p> <p>①授業者からのコメント</p> <p>②指導・助言</p>      | <p>○授業者が、授業や協議会後の個人の考察をコメントする。</p> <p>○指導主事等から指導、助言をもらう。</p> | <p>○協議会での意見を踏まえて、自身の授業について考察する。</p> <p>○指導・助言を受け、新たな事柄があれば、対応策に加えておく。</p>   | 7 |
| <p><b>5 省察</b><br/>【個人】（10分）</p>  | <p>○全体を通して考えたことを省察シートにまとめる。</p>                              | <p>○視点を自分自身に移し、各自が明日からの取組に生かせるようにする。</p>  | 8 |

## ●研修後

- 提言をまとめたホワイトボードは、次の授業研究会の時まで職員室等、常に職員が目にする場所に掲示する。
- 次の授業研究会の時に、協議された提言内容がどのように生かされているかを検証する。
- 直近の教科会や学年会で、教科や学年に特化した課題について検討し、その結果については、研究主任等を通して（研究通信等で）全職員が共有できるようにする。